

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連

江南厚生病院

Vol. 36

2017.1

INDEX

コラム

① 新年のごあいさつ

② 入院前の持参薬確認について

トピックス

災害訓練の報告

リハビリテーション科 保護者交流会

寝たきりにならないための転倒予防と腰痛対策

地域連携会議について

病棟看護師の退院後訪問を始めました

イベント紹介

院内コンサート

お知らせ

看護学生インターンシップ開催のご案内

看護師・助産師募集病院説明会のお知らせ

がんサロン「にじの会」のご案内

保険証の確認について

面会時間のご案内

診療日カレンダー

病院理念

- 一、私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一、私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一、私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

新年のごあいさつ

江南厚生病院 院長
齊藤 二三夫



新年あけましておめでとうございます。当院は開院して8年半が経過しました。この尾張北部医療圏の北部地域の住民が、この地域で高度先進医療を受けることができるよう、診療機能の充実と安心で安全な医療に取り組んでまいりました。長年の24時間救急医療の実績により、一昨年10月1日に愛知県知事より救命救急センターの指定を受け、地域周産期母子医療センター、地域中核災害医療センターの指定と合わせて、これからもこの地域の基幹病院として地域に貢献する医療機関としての役割を担ってまいります。

今年は、更なる診療機能の充実に向け、新たに放射線診断医と治療医が赴任する予定ですが、それにより放射線診断及び血管内治療の質が向上するとともに、より多くの患者さんに放射線治療を行えるようになります。平成30年には現在稼働中の放射線治療機器のライナックIXに加えて、副作用や治療後の合併症が少なく、治療効果の高いトモセラピーHDAを導入する方針です。高齢化により日本人の2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで亡くなる時代になりました。非侵襲的※1な放射線治療は、転移性腫瘍も含め、今後増加する高齢の患者さんにとって負担の少ない治療であると思っています。

医療全体を考えると、高齢化社会の到来により、現在の年間死亡数120万人が、2025年には160万人に増加します。人生の最終段階の治療選択に関して、患者さんの希望される治療方法、ご家族が希望される治療方法、医学的見地からの医師の治療方法の不一致が増えていくと思われませんが、時には患者さんが意思表示できない場合もあります。治療方法の決定については、できる限り患者さんの希望に添い、ご家族が納得され、医師の考える最善の治療法とのすり合わせを行うために、主治医、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカー、連携先医療従事者などを含めた医療チームが、患者さんやご家族と一緒に、もしもに備えて人生の最終段階に向けて大切な事を話し合っ計画していく方針（ACP※2: Advance Care Planning）です。

最後になりますが、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



※1 体に影響が少ないこと

※2 これから受ける医療やケアについて本人の考えを家族や医療者に表明し、文書に残す手順のこと



入院前の持参薬確認について

持参薬とは、普段お使いになっており、入院時に自宅から持ってこられるお薬（当院の外来や他の病院・医院からの処方薬など）のことをいいます。お薬の情報を早期に、そして正確に把握することは、入院中の治療をより安全に行う上でとても大切です。

そのために当院では、平成28年10月より「持参薬管理室」を開設しました。入院が決まった患者さんで、普段お使いになっているお薬がある場合は、入院前にお薬やお薬手帳・薬の説明書等を「持参薬管理室」にお持ちいただき、専任の薬剤師がお薬の確認をさせていただきます(予約制)。お薬の内容は、主治医へ伝えられ、入院中に使用するお薬の準備や確認等に活用されます。また、緊急入院等で入院前にお薬の確認ができなかった場合は、入院後に病棟専任の薬剤師により確認を行なっています。

なお、お薬の確認を行う上で、薬の説明書やお薬手帳などは大切な情報源となりますので、必ずお持ちください。

最後に、当院では国の方針により、持参薬の一部については、入院後新しくご用意させていただいております。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

「持参薬管理室」にて薬の確認を行う際の持ち物



- ・ 当院のお薬（飲み薬、インスリン、目薬、湿布など）
- ・ 他の病院のお薬（飲み薬、インスリン、目薬、湿布など）
- ・ お薬手帳、お薬の説明書、お薬の袋等



災害訓練の報告



11月5日(土) 災害拠点病院災害訓練を近隣消防機関、さくら総合病院、総合犬山中央病院協力のもと実施しました。

今回の訓練はより現実的な訓練を目標に、大型バスと乗用車の衝突事故で多数の負傷者が発生した想定で、消防機関による救助活動、DMATによる事故現場での医療活動、病院での救護活動を行いました。

その実践的な取り組みのひとつが、普段通り電子カルテを使った診療実施です。従来大規模災害時の場合、患者状態記録を紙カルテで行っていましたが、こうした患者数が限られた局所災害の場合では電子カルテを使用することができるため、通常の救急外来受診時と同じ運用で行いました。それにより診療エリアから離れた災害対策本部や手術室等でもリアルタイムの患者状況を把握ができ何より使い慣れているシステムのため混乱が少なく、災害時でも電子カルテ運用が有効であることが確認できました。

最後に、訓練により見つかった課題を解決し災害拠点病院として機能を高めるとともに、今後も消防機関や近隣病院との連携を深め、災害時においても地域医療を守る砦として機能するよう災害対策に取り組んでいきます。



リハビリテーション科 保護者交流会

10月29日、当院で小児リハビリを受けている保護者の交流会を講堂で開催しました。この会は、ゆっくりとした発達を見せる子ども達を育てるにあたり、保護者の方が日頃から知りたいと思っていることをお互いに情報交換できる場を提供することを目的としています。交流会には、教育委員会の発達支援員の先生、小学校のこたばの教室の先生もお招きし、保護者の方々は、様々な体験談を共有し、専門家の先生へ積極的に質問されていました。「色々な意見がきけて参考になった」とのご意見をいただき、盛況のうちに終了しました。



寝たきりにならないための転倒予防と腰痛対策

10月20日、JA尾張中央主催で、組合員(女性部約200名)を対象に「寝たきりにならないための転倒予防と腰痛対策」の講演会が小牧市まなび創造館5Fあさひホールで催されました。転倒の原因と予防、及び腰痛における姿勢と運動について、当院の理学療法士の視点から講演し、「転倒と腰痛の予防への意識が高まった」とのご意見をいただき、とても好評でした。



地域連携会議について

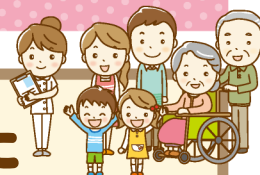


当院では「地域連携会議」を平成21年度より開催しています。この会議は、地域の関係機関をお招きし、当院の医師・看護師・ソーシャルワーカー等の職員を交えて話し合いを行い連携を深める会議で、毎年テーマを決めて年に数回開催しています。地域の関係機関とは、江南市内の施設、病院、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などで、毎年多くの方に参加していただいています。

今年度は、「地域包括ケアシステム」というテーマで11月に1回、12月に2回話し合い、当院から最近の病院の状況等を報告した後に、情報交換を行いました。地域の関係機関の方から様々な意見を伺うことで、お互いの業務に活かすことができます。地域連携会議がより良い連携に繋がり、患者さんが安心して生活できる体制が作れるよう、今後も継続していきたいと思います。



病棟看護師の退院後訪問を始めました



江南厚生病院では平成28年11月より、退院直後の在宅療養生活を充実するために退院後訪問を始めました。これは、退院指導を行った病棟の看護師が、退院後に患者さん宅へ訪問看護師と一緒に訪問するものです（人工呼吸器や酸素吸入、点滴などの医療行為を継続する患者さんなど一定の基準があります）。

「訪問看護は利用するけれど、初めは慣れないためになかなか思ったことが話せない」ということがあるかもしれません。そこで入院中にお世話にあたった馴染みのある看護師がお宅を訪問し、実際の生活での不安や困難に対応させていただき、順次訪問看護につないでいこうという試みです。また、病棟看護師は医療行為を継続しながら自宅で生活される方を実際に見させていただくことで、「生活を支える」視点で療養上のケアや指導を考える能力が伸ばせると考えています。

取り組みを始めたばかりの現在は、江南厚生訪問看護ステーションの利用者に限らせていただいておりますが、将来的には地域の訪問看護ステーションを利用される方も、退院後訪問を利用していただけるとなりたいと思っています。詳しくは病棟の看護師または、医療福祉相談室へお尋ねください。



イベント紹介

院内コンサート Concert

ママバンド LINKS

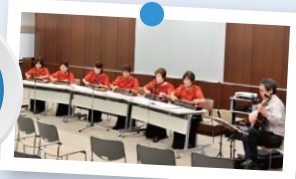
琴生流 菊八重会 (大正琴)

ぽろんぽろん扶桑
(クラシックギター)

9月21日
(水)



10月19日
(水)



11月16日
(水)



ボランティアによる院内コンサートを開催しました。毎回、楽器の演奏や歌声の素敵なハーモニーを聴くことができ、時間の経つのが早く感じられました。これからも毎月(不定期)コンサートを開催しますので、是非ご参加ください。

看護学生インターンシップ開催のご案内

江南厚生病院では、インターンシップを通し職場環境を知る機会を提供しています。

普段の実習では体験できない看護師の仕事を体験することや、病院スタッフとふれあい自身のキャリアプランを考えるきっかけになればと考えています。

●平成29年春 江南厚生病院インターンシップ

2月20日(月)～3月24日(金) ※参加希望日の1週間前までにお申込ください。

お問い合わせ先 看護管理室 TEL : (0587)51-3332 (直通) FAX : (0587)51-3300
e-mail : kango@konan.jaaikosei.or.jp

看護師・助産師 募集

< 看護部病院説明会 開催予定 > 平成30年4月採用の看護職員を募集します。

3/30 (木)	9:00～12:00 (開場8:30) 江南厚生病院2階講堂にて
4/15 (土)	病院概要・看護部理念・教育体制・給与休暇等の説明、先輩との意見交換、施設見学など
4/29 (土・祝)	参加をご希望の方は1週間前までにお申し込みください。
5/13 (土)	詳しくは江南厚生病院ホームページをご覧ください。
5/20 (土)	※選考会は6月17日(土)・7月1日(土)に行います。
6/ 3 (土)	

仲間やがん詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか？

平成28年度 がんサロン「にじの会」のご案内

●対象 がんを患っている患者さんあるいは、そのご家族

●内容 10:00～10:30 プチ講座 (2か月毎に内容を変更します)
10:30～12:00 参加者同士の交流

●日程とプチ講座のテーマ

日時	テーマ(仮)	担当
1/17(火)	がん治療と仕事との両立の工夫	当事者&MSW

●場所 外来2階 多目的室
※外来用エレベーター前

●参加方法 自由参加

参加費
無料

< 問い合わせ先 > がん相談支援センター TEL (0587) 51-3346 FAX (0587) 51-3317
E-メール: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間のご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00～20:00	13:00～20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2017年(平成29年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28					26	27	28	29	30	31	

発行日/平成29年1月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL (0587) 51-3333 FAX (0587) 51-3300